



新座中だより

令和4年度7月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号
電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131
新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

子どもの成長と子育て四訓

校長 高橋 利明

あと3週間ほどで夏休みとなります。

今、学校の中庭では、アジサイが見ごろを迎え、ヘチマも日に日にツルを伸ばしています。

さて、今回紹介する「子育て四訓」は、山口県の方が長い教員経験を踏まえてまとめたものです。かつて校内暴力や破壊行為、問題行動などで、教育現場にとって苦難の時代がありました。その中で、様々な子どもたちの家庭や親子関係を見ると、その問題行動が人間愛、親子愛の欠落に起因していると思われる部分が多いと痛感されたそうです。夏休みを前にあらためて親として、学校として、地域社会として親子の関係を見直すことが大切な時期と言えます。

【子育て四訓】

- 1 乳児はしっかり肌を離すな
- 2 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 3 少年は手を離せ、目を離すな
- 4 青年は目を離せ、心を離すな

中学校時代の時期はとりわけ「少年は手を離せ、目を離すな」の時期でしょうか。中学生は

家族、友人、地域など、他者とのかかわりの中で社会性が育つ時期です。ここでしっかり手を離して活動範囲を広げてやる必要があります。

一方、この時期は成長とともに子どもが親に反抗したり心が不安定になったりしがちな時期です。このことは、親や友人に「こちらを向いてほしい」というメッセージを送っているのかもしれませんが。それは成長の過程であり、親としてはしっかりと子どもに向き合い、共に成長することを心がける時期なのでしょう。

もちろんこの「四訓」の言葉だけで言い尽くされ、うまくいくものではありません。しかし、1学期間の振り返りとこれからのヒントとなるものでしょう。

最後に、保護者の皆さま、地域の皆さまには1学期中、本校教育活動に対しまして、多大なるご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。家庭・地域・学校が互いに連携・協力し、「未来の宝」である子どもたちを共に育てていきましょう。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」